

香曾我部義則先生 の今月のカルテ ②

慢性痛とペインクリニック

痛みを治療をより専門的に勉強した医師が、痛みを総合的に診断し治療するペインクリニック。その治療法について、梶木病院麻酔科・ペインクリニックの香曾我部義則先生が、分かりやすく説明してくれるこのコラム。第20回のカルテは、むち打ち症（外傷後頸部症候群）と、最近話題の脳脊髄液減少症（低髄液圧症候群）についてです。

一般にむち打ち症とは、椎間板や椎間関節の障害をきたす部から後頭部、肩と広い

症状は痛みや凝りを頸部から後頭部、肩と広いようです。通常は消炎鎮痛薬（痛

交通事故でのむち打ち症から頭痛、微熱、全身倦怠：脳脊髄減少症の疑いも 治療にはブラッドパッチを

力が加わり、頸部の筋肉や筋膜、靭帯（じんたい）えらわれています。

範囲で感じます。同じ部位にしびれを生じることがよくあります。そのた

「脳脊髄液減少症」とは外傷により脳脊髄を保護している膜（硬膜外、ドパッチ）があります。治療法で、県下では岡山

■プロフィール こうそかべ・よしのり 昭和54年3月岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て平成16年4月1日から現職。日本麻酔学会専



香曾我部義則先生

門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属

め首の曲げ伸ばし、回すといった動作がしにくくなります。

8月27日号既述）に穴が空き、そこから髄液が漏れ、脳が引っ張られるようになり、先に述べた症状が生じます。

レントゲン写真では特別な異常を認めないことが多く、また交通事故後などでは以前の比較が

「脳脊髄液減少症」とは外傷により脳脊髄を保護している膜（硬膜外、ドパッチ）があります。治療法で、県下では岡山

前回の頸椎症の治療で紹介した椎間関節ブロックで

「脳脊髄液減少症」とは外傷により脳脊髄を保護している膜（硬膜外、ドパッチ）があります。治療法で、県下では岡山

状態神経節ブロック、硬膜

「脳脊髄液減少症」とは外傷により脳脊髄を保護している膜（硬膜外、ドパッチ）があります。治療法で、県下では岡山

状態神経節ブロック、硬膜

「脳脊髄液減少症」とは外傷により脳脊髄を保護している膜（硬膜外、ドパッチ）があります。治療法で、県下では岡山

■メモ 問い合わせ先 ☎(293) 33555代 梶木病院(西花尻)